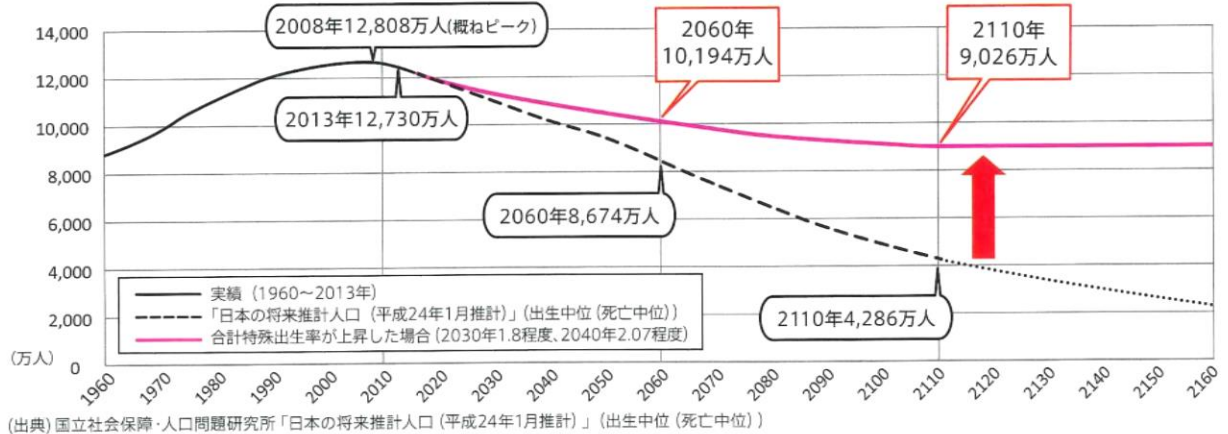


中札内村人口ビジョン（概要）

日本の人口推計

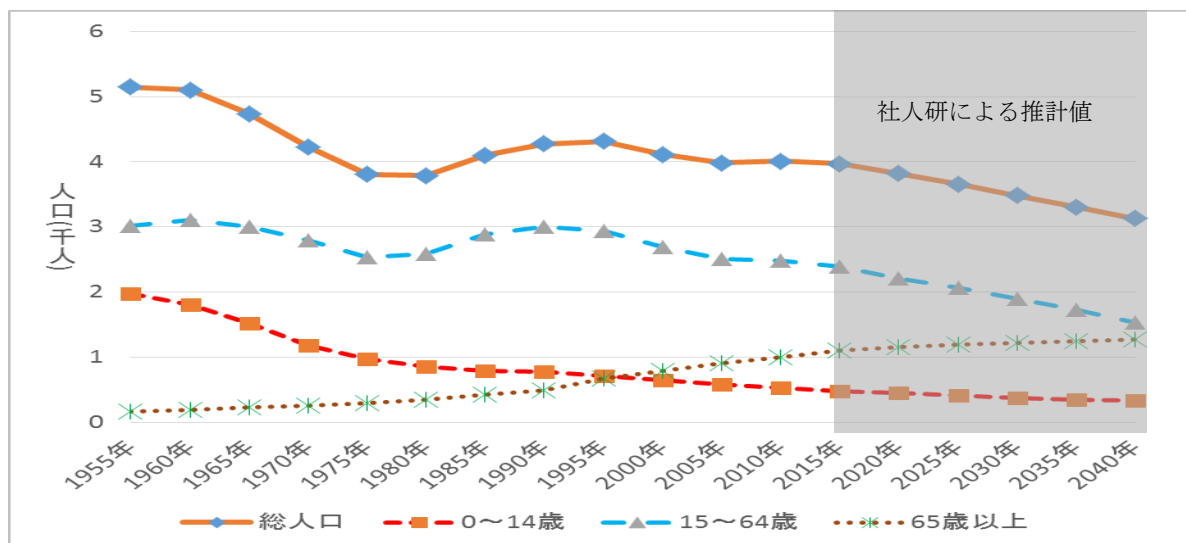
- ・ 2008年（平成20年）から人口減少は始まっており、今後加速度的に進むと予測されています。
- ・ 人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな負荷となります。
- ・ 国は人口減少対策と地方創生対策を行うことで、人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保することをめざしています。

我が国の人口の推移と長期的な見通し



中札内村の人口の推移

- ・ 近年は 2005 年 3,983 人、2010 年 4,006 人と 4,000 人前後を維持しているものの、今後は急速に人口減少が進み、2040 年には 3,129 人になると推計されます。(国立社会保障人口問題研究所推計)
- ・ 中札内村の合計特殊出生率は 2012 年で 1.45 となっており、全国平均 (1.38) よりも上回っているものの、十勝管内の平均値 (1.50) よりも低い状況となっています。
- ・ 中札内村の人口移動を見ると 2005 年 15～19 歳代だった者が 2010 年には 100 人以上の転出をしており、大学等への進学や就職により村外へ転出する者が多い状況となっています。
- ・ 65 歳以上人口は増え続け、2040 年には総人口の 40%を超える (1,264 人) と推計されます。



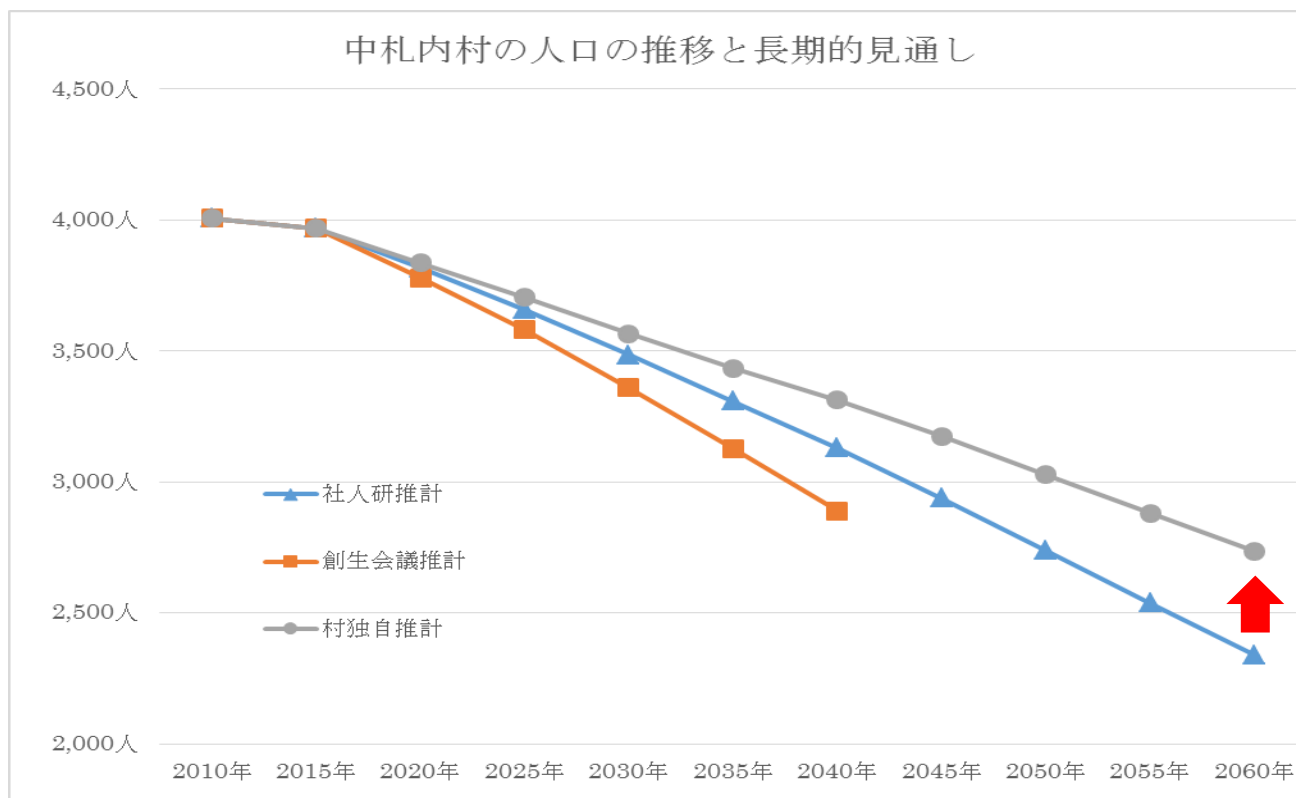
中札内村の人口の将来展望

①「人口減少」が与える影響

- ・労働力人口（15～64 歳）の減少によって地域経済規模は縮小し、さらなる人口流出が懸念されます。
- ・総人口の減少によって、村税や地方交付税等の村の収入が減少し、各種行政サービス（社会資本整備や保健・医療・福祉サービス等）を維持していくことが困難になります。

②めざすべき将来の方向性

- ・人口「自然減」（出生数-死亡数）、「社会減」（転入数-転出数）を減少させる取組を行う必要があります。
- ・出生率向上に向け、子どもを産み、育てやすい村づくりを目指していく必要があります。
（合計特殊出生率を 2030 年に 1.8 に、2040 年に 2.07 まで段階的に上昇する取組を進めます）
- ・社会減を減少させるため、住んでみたい、住んで良かったと思える移住定住の推進を行う必要があります。



	2010 年	2020 年	2030 年	2040 年	2050 年	2060 年
社人研推計	4,006 人	3,817 人	3,485 人	3,129 人	2,738 人	2,339 人
創生会議推計	4,006 人	3,779 人	3,359 人	2,890 人	—	—
村独自推計	4,006 人	3,835 人	3,565 人	3,311 人	3,026 人	2,735 人

- ・人口減少問題に対し、子育て支援策や定住支援策等の有効な施策を行うことで、2040 年で 3,311 人、2060 年で 2,735 人の人口を見込んでおり（村独自推計）、将来予測されている推計よりも人口減少を抑えることをめざします。

※「人口ビジョン」の本文（全体版）は村ホームページに掲載しています。